

## ＜プログラム＞

第1日目: 2014年11月15日(土)

＜標本展示＞	演題 1-18	8:30	～	17:20	(1階 実習室 1)
＜開会の辞＞		11:25	～	11:30	(3階 講義室 3)
＜ランチョンセミナー 1＞		11:30	～	12:30	(3階 講義室 3)
＜一般演題 1＞	演題 1-18	12:30	～	17:20	(3階 講義室 3)
＜特別講演＞		17:30	～	18:30	(3階 講義室 3)
＜懇親会＞		18:45	～	20:15	(福利厚生棟 1階)

11:25～11:30 開会の辞

和歌山県立医科大学 神経内科学講座 伊東秀文

11:30～12:30 ランチョンセミナー 1 共催: グラクソ・スミスクライン株式会社

座長 村田顕也 (和歌山県立医科大学 神経内科学講座)

「パーキンソン病の最新の治療」

順天堂大学医学部 脳神経内科 服部信孝 先生

一般演題 1 (口演)

12:30～13:00 脳炎

座長 新宅雅幸 先生 (大阪赤十字病院 病理診断科)

\*1. シェーグレン症候群に合併したアメーバ性脳炎の1剖検例

○ 丹藤 創 (タンドウ ソウ)<sup>1</sup>, 伊東 恭子<sup>1</sup>, 八木田健司<sup>2</sup>, 野崎智義<sup>2</sup>, 片野晴隆<sup>3</sup>,  
長谷川秀樹<sup>3</sup>, 松尾 宏俊<sup>4</sup>, 細川 洋平<sup>5</sup>, 伏木 信次<sup>1</sup>

1) 京都府立医科大学大学院 分子病態病理学

2) 国立感染症研究所 寄生動物部 3) 同 感染病理部

4) 近江八幡市立総合医療センター 神経内科 5) 同 病理診断科

2. 濾胞性リンパ腫治療後に多発性大脳病変を呈した58歳男性剖検例

○ 佐藤亮太 (サトウ リョウタ)<sup>1,2</sup>, 石口絵梨<sup>1</sup>, 中野雄太<sup>1,4</sup>, 前田敏彦<sup>1</sup>,  
尾本雅俊<sup>1</sup>, 石井文彩<sup>3</sup>, 高尾昌樹<sup>4</sup>, 池田栄二<sup>3</sup>, 神田 隆<sup>1</sup>

1) 山口大学大学院医学系研究科 神経内科学

2) 山口県立総合医療センター 神経内科

3) 山口大学大学院医学系研究科 病理形態学

4) 東京都健康長寿医療センター 高齢者ブレインバンク

**13:00～13:30**

**脳症**

**座長 伊東恭子 先生 (京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学)**

3. 橋本病にて経過観察中、難治性てんかん重積をきたした一剖検例
- 元田敦子 (モトダ アツコ)<sup>1</sup>, 同道頼子<sup>1</sup>, 野田公一<sup>1</sup>, 万代光一<sup>2</sup>, 倉重毅志<sup>3</sup>, 松永晶子<sup>4</sup>
  - 1) 東広島医療センター 神経内科 2) 東広島医療センター 検査科
  - 3) 県立広島病院 神経内科 4) 福井大学医学部附属病院 神経内科
- \*4. 大脳白質の血管病変と多発性壊死性病変を認めた、パーキンソン症候群の1例
- 森 千晃 (モリ チアキ)<sup>1</sup>, 朴 貴瑛<sup>2</sup>, 大江田知子<sup>2</sup>, 澤田秀幸<sup>2</sup>, 山寺みさき<sup>1</sup>, 井上貴美子<sup>1</sup>, 藤村晴俊<sup>1</sup>
  - 1) 国立病院機構刀根山病院 神経内科 2) 国立病院機構宇多野病院 神経内科

**13:30～14:00**

**Amyloidosis**

**座長 富本秀和 先生 (三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学)**

- \*5. トランスサイレチン遺伝子 Gly47Arg 変異を有し、脳軟膜への高度なアミロイド沈着を呈した一剖検例
- 角田溪太 (カクダ ケイタ)<sup>1</sup>, 隅 寿恵<sup>2</sup>, 上原拓也<sup>1,2</sup>, 別宮豪一<sup>2</sup>, 衛藤昌樹<sup>1</sup>, 山内周一<sup>3</sup>, 中 隆<sup>1</sup>, 望月秀樹<sup>2</sup>
  - 1) 東大阪市立総合病院 神経内科 2) 大阪大学医学部 神経内科
  - 3) 東大阪市立総合病院 病理部
6. 小脳出血治療中に突然死した100歳女性例
- 福岡敬晃 (フクオカ タカアキ)<sup>1</sup>, 丹羽淳一<sup>1</sup>, 泉 雅之<sup>1</sup>, 中尾直樹<sup>1</sup>, 道勇 学<sup>1</sup>, 三室マヤ<sup>2</sup>, 岩崎 靖<sup>2</sup>, 吉田眞理<sup>2</sup>
  - 1) 愛知医科大学 神経内科 2) 同 加齢医科学研究所

-Coffee Break (10 分)-

14:10~14:40

CAA, CJD

座長 山田正仁 先生

(金沢大学大学院医学系研究科 脳老化・神経病態学 (神経内科学))

7. 3T MRI によるアミロイド関連微小血管病変の描出; *ex vivo* MRI と病理所見の直接比較

○ 丹羽 篤 (ニワ アツシ)<sup>1</sup>, 伊井裕一郎<sup>1</sup>, 松尾 皇<sup>1</sup>, 富本秀和<sup>1</sup>, 高瀬伸一<sup>2</sup>, 前田正幸<sup>3</sup>, 赤津裕康<sup>4</sup>, 橋詰良夫<sup>4</sup>

1) 三重大学大学院医学系研究科 神経病態内科学

2) 三重大学医学部附属病院 中央放射線部

3) 三重大学医学部附属病院 放射線診断科 4) 医療法人さわらび会福祉村病院

8. MM1 クロイツフェルトヤコブ病 (CJD) の 1 剖検例における  $\alpha$ B-crystallin の検討

○ 赤木明生 (アカギ アキオ)<sup>1, 2</sup>, 三室マヤ<sup>1</sup>, 岩崎 靖<sup>1</sup>, 森 恵子<sup>3</sup>, 伊藤益美<sup>3</sup>, 吉田眞理<sup>1</sup>

1) 愛知医科大学 加齢医科学研究所 2) 金沢大学 神経内科

3) 小山田記念温泉病院

14:40~15:10

AD, HD

座長 山本 徹 先生 (介護老人保健施設 ライフケア中津)

9. 大脳皮質基底核症候群 (CBS) が疑われたアルツハイマー病 (AD) の剖検例

○ 家田俊明 (イエダ トシアキ)<sup>1</sup>, 赤木明生<sup>2</sup>, 三室マヤ<sup>2</sup>, 岩崎 靖<sup>2</sup>, 吉田眞理<sup>2</sup>

1) 市立四日市病院 脳神経内科 2) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

10. Somatic sprout と多数の torpedoes が認められた Huntington 病の 1 剖検例

○ 坂井健二 (サカイ ケンジ)<sup>1</sup>, 石田千穂<sup>2</sup>, 森永章義<sup>1,3</sup>, 高橋和也<sup>2</sup>, 山田正仁<sup>1</sup>

1) 金沢大学大学院 脳老化・神経病態学 (神経内科)

2) 独立行政法人 国立病院機構医王病院 神経内科

3) 独立行政法人 国立病院機構七尾病院 神経内科

**15:10～15:40**

**Parkinsonism**

座長 吉田眞理 先生 (愛知医科大学 加齢医科学研究所)

\*11. Hemiparkinsonism-hemiatrophy 症候群の一部検例

- 柘植彩子 (ツゲ アヤコ), 中村正孝, 三宅浩介, 飯田 慎, 井谷公美, 森 勢論, 隠岐光彬, 藤田賢吾, 國枝武伸, 和手麗香, 金子 鋭, 日下博文  
関西医科大学 神経内科

12. 複数の病態を伴った多系統萎縮症の一部検例

- 宮田 元 (ミヤタ ハジメ)<sup>1</sup>, 本郷祥子<sup>2</sup>, 福迫俊弘<sup>3</sup>, 尾本雅俊<sup>4</sup>, 森松光紀<sup>5</sup>
  - 1) 秋田県立脳血管研究センター 脳神経病理学研究部
  - 2) 秋田大学医学部医学科 3) 山口県立総合医療センター 神経内科
  - 4) 山口大学大学院医学系研究科 神経内科学 5) 徳山医師会病院 神経内科

-Coffee Break (10 分)-

**15:50～16:20**

**FALS**

座長 日下博文 先生 (関西医科大学 神経内科学講座)

13. FUS 陽性封入体を伴う家族性筋萎縮性側索硬化症の一部検例

- 天草善信 (アマクサ ヨシノブ)<sup>1</sup>, 丹羽央佳<sup>1</sup>, 伊藤 誠<sup>2</sup>, 赤木明生<sup>3</sup>, 三室マヤ<sup>3</sup>, 岩崎 靖<sup>3</sup>, 吉田眞理<sup>3</sup>
  - 1) 刈谷豊田総合病院 神経内科, 2) 刈谷豊田総合病院 病理科,
  - 3) 愛知医科大学 加齢医科学研究所 神経病理部門

\*14. Optineurin 遺伝子にヘテロ接合 E478G 変異を認めた家族性 ALS の一部検例

- 綾木 孝 (アヤキ タカシ)<sup>1</sup>, 伊東秀文<sup>1</sup>, 小牟禮 修<sup>2</sup>, 辰己新水<sup>3</sup>, 漆谷 真<sup>3</sup>, 川上秀史<sup>4</sup>, 高橋良輔<sup>3</sup>
  - 1) 和歌山県立医科大学 神経内科, 2) IHI 播磨病院 神経内科,
  - 3) 京都大学 神経内科, 4) 広島大学原爆放射線医科学研究所 分子疫学研究分野

**16:20～16:50 ALS 1**

座長 藤村晴俊 先生 (国立病院機構 刀根山病院 臨床研究部)

\*15. 残存運動神経細胞に pTDP-43 陽性, cystatin C 陽性の大型類円形細胞質内封入体を認めた「広範型」ALS の 1 剖検例

○ 新宅雅幸 (シンタク マサユキ)<sup>1</sup>, 金田大太<sup>2</sup>, 小柳清光<sup>3</sup>

1) 大阪赤十字病院 病理診断科 2) 同 神経内科

3) 信州大学医学部 神経難病学

\*16. 運動神経諸核に type C 類似の pTDP-43 沈着を認めた ALS の 1 例

○ 上田紗希帆 (ウエダ サキホ), 尾崎 彰彦, 山本 徹

大阪府済生会中津病院

**16:50～17:20 ALS 2**

座長 加藤信介 先生 (鳥取大学医学部 脳病態医科学分野)

17. 筋萎縮性側索硬化症の一部検例

○ 西村広健 (ニシムラ ヒロタケ), 濱崎周次, 定平吉都

川崎医科大学 病理学 1

\*18. 紀伊半島出身 ALS の一例

○ 牧浦葉子 (マキウラ ヨウコ)<sup>1</sup>, 野倉一也<sup>2</sup>, 加子哲治<sup>2</sup>, 東 文香<sup>2</sup>, 溝口良順<sup>3</sup>,  
山本續子<sup>4</sup>, 岩崎 靖<sup>5</sup>, 三室マヤ<sup>5</sup>, 吉田眞理<sup>5</sup>

1) 西大和リハビリテーション病院 2) 藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 神経内科

3) 同 病理 4) 並木病院 神経内科

5) 愛知医科大学 加齢医科学研究所 神経病理部門

**17:30～18:30 特別講演**

座長 伊東秀文 (和歌山県立医科大学 神経内科学講座)

「自然と人」 紀伊半島と南洋群島 (生命の源流)

八瀬 善郎 名誉教授 (和歌山県立医科大学)

**18:45～20:15 全体懇親会**

福利厚生棟 1 階

第2日目: 2014年11月16日(日)

<標本展示>	演題 19-30	8:00	～	15:15	(1階 実習室 1)
<一般演題 2>	演題 19-22	10:00	～	11:00	(3階 講義室 3)
<臨床神経病理懇話会 世話人会>		11:00	～	11:30	(3階 講義室 2)
<神経病理学会近畿地方会 世話人会>		11:30	～	12:00	(1階 会議室)
<ランチョンセミナー 2>		12:00	～	13:00	(3階 講義室 3)
<一般演題 3>	演題 23-30	13:00	～	15:10	(3階 講義室 3)
<閉会の辞>		15:10	～	15:15	(3階 講義室 3)

## 一般演題 2 (口演)

10:00～10:30

神経・筋

座長 西村広健 先生 (川崎医科大学 病理学 1)

\*19. 抗 U3RNP 抗体陽性筋炎の臨床病理学的検討

- 村田顕也(ムラタ ケンヤ)<sup>1</sup>, 中西一郎<sup>1</sup>, 池田高治<sup>2</sup>, 三森経世<sup>3</sup>, 伊東秀文<sup>1</sup>  
1) 和歌山県立医科大学 神経内科 2) 和歌山県立医科大学 皮膚科学  
3) 京都大学医学部大学院医学研究科 臨床免疫学

20. 腓腹神経生検を行った抗 Neurofascin 抗体陽性 Lewis-Sumner 症候群の一例

- 大崎裕亮(オオサキ ユウスケ)<sup>1</sup>, 松井尚子<sup>1</sup>, 葛目大輔<sup>2</sup>, 藤田浩司<sup>1</sup>, 野寺裕之<sup>1</sup>,  
尾本雅俊<sup>3</sup>, 海田賢一<sup>4</sup>, 和泉唯信<sup>1</sup>, 神田 隆<sup>3</sup>, 梶 龍兒<sup>1</sup>  
1) 徳島大学 神経内科 2) 近森病院 3) 山口大学 神経内科  
4) 防衛医科大学校 内科 3 神経・抗加齢血管内科

10:30～11:00

脳腫瘍

座長 村田晋一 先生 (和歌山県立医科大学 病理学第二教室)

\*21. 髄膜腫との鑑別に苦慮した胸髄 malignant solitary fibrous tumor の一例

- 松井宏樹(マツイヒロキ)<sup>1</sup>, 高木健治<sup>1</sup>, 石田光明<sup>2</sup>, 九嶋亮治<sup>2</sup>, 遠山育夫<sup>3</sup>,  
野崎和彦<sup>1</sup>

- 1) 滋賀医科大学 脳神経外科学講座, 2) 滋賀医科大学附属病院 病理診断科  
3) 滋賀医科大学 分子神経科学研究センター

22. 脳生検で診断困難だった脳原発悪性リンパ腫の剖検例

- 加藤博子(カトウ ヒロコ)<sup>1</sup>, 岩崎 靖<sup>2</sup>, 三室マヤ<sup>2</sup>, 吉田眞理<sup>2</sup>, 安藤哲朗<sup>1</sup>,  
川上 治<sup>1</sup>, 杉浦 真<sup>1</sup>, 加藤隼康<sup>1</sup>, 横井克典<sup>1</sup>, 都築雨佳<sup>1</sup>, 原田陽平<sup>1</sup>  
1) 安城更生病院 神経内科 2) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

11:00～11:30 臨床神経病理懇話会 世話人会 (3階 講義室2)

11:30～12:00 日本神経病理学会近畿地方会 世話人会 (1階 会議室)

12:00～13:00 ランチョンセミナー 2 共催：エーザイ株式会社  
座長 遠山育夫 先生 (滋賀医科大学 分子神経科学研究センター)  
「アルツハイマー病：根本治療に向けた研究最前線」  
東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野 岩坪 威 先生

### 一般演題3 (口演)

13:00～13:30 Pick

座長 石津秀樹 先生 (財団法人慈圭会 慈圭病院)

23. 行動異常で発症し、高度の前頭側頭葉萎縮を呈したピック病の1剖検例

○ 岩崎 靖 (イワサキ ヤスシ)<sup>1</sup>, 森 恵子<sup>2</sup>, 伊藤益美<sup>2</sup>, 赤木明生<sup>1</sup>, 三室マヤ<sup>1</sup>,  
吉田真理<sup>1</sup>

- 1) 愛知医科大学 加齢医科学研究所 神経病理部門
- 2) 小山田記念温泉病院 神経内科

24. 多数のRD4陽性RD3陰性神経細胞内封入体を基底核・脳幹・小脳に伴ったPick小体を有するPick病の1剖検例

○ 池田智香子 (イケダ チカコ)<sup>1,2</sup>, 横田修<sup>1,2,3</sup>, 長尾茂人<sup>1,2</sup>, 大島悦子<sup>1</sup>,  
寺田整司<sup>1,2</sup>, 石津秀樹<sup>4</sup>, 内富庸介<sup>1</sup>

- 1) 岡山大学大学院 精神神経病態学 2) 南岡山医療センター 臨床研究部
- 3) きのこエスポール病院 4) 慈圭精神医学研究所

**13:30~14:00**

**FTDP-17**

**座長 片山禎夫 先生 (川崎医科大学 神経内科学)**

25. Tau 遺伝子 P301L 変異を認めた FTDP-17 の 1 剖検例

○ 橋詰良夫 (ハシヅメ ヨシオ)<sup>1</sup>, 赤津裕康<sup>1</sup>, 堀 映<sup>1</sup>, 桑野良三<sup>2</sup>

1) 福祉村病院 神経病理研究所 2) 新潟大学 脳研究所

26. *MAPT* の新規遺伝子変異を認めた FTDP-17 の一剖検例

○ 倉重毅志 (クラシゲ タカシ)<sup>1,2</sup>, 森野豊之<sup>3</sup>, 城間紀之<sup>4</sup>, 山崎 雄<sup>1</sup>, 高橋哲也<sup>1</sup>,

有広光司<sup>4</sup>, 丸山博文<sup>1</sup>, 伊東秀文<sup>5</sup>, 川上秀史<sup>3</sup>, 松本昌泰<sup>1</sup>

1) 広島大学大学院 脳神経内科学 2) 県立広島病院 脳神経内科

3) 広島大学原爆放射線医科学研究所 分子疫学

4) 広島大学病院 病理診断科 5) 和歌山県立医科大学 神経内科

-Coffee Break (10 分)-

**14:10~14:40**

**PSP+α**

**座長 上野正樹 先生 (香川大学医学部 炎症病理学)**

27. 多数の ghost tangle を海馬領域に認めた, 進行性核上性麻痺の高齢者の一剖検例

○ 岩瀬 環 (イワセ タマキ)<sup>1</sup>, 水野友之<sup>1</sup>, 吉田眞理<sup>2</sup>

1) 名古屋市厚生院 神経内科 2) 愛知医科大学 加齢医科学研究所

28. パーキンソニズムが先行し筋萎縮性側索硬化症の剖検例

○ 武内俊明 (タケウチ トシアキ)<sup>1</sup>, 隅蔵大幸<sup>2</sup>, 藤田浩司<sup>1</sup>, 野寺裕之<sup>1</sup>, 瓦井俊孝<sup>1</sup>,

和泉唯信<sup>1</sup>, 村山繁雄<sup>2</sup>, 梶 龍兒<sup>1</sup>

1) 徳島大学 神経内科 2) 東京都健康長寿医療センター 神経病理



14:40～15:10

脱髄・炎症

座長 東 靖人 先生 (姫路中央病院 神経内科)

29. 大脳白質に広範な左右対称性壊死病変を認めた視神経脊髄炎の1剖検例

○石田千穂 (イシダ チホ)<sup>1</sup>, 池田篤平<sup>1</sup>, 高橋和也<sup>1</sup>, 本崎裕子<sup>1</sup>, 池田芳久<sup>1</sup>,  
駒井清暢<sup>1</sup>, 篠原もえ子<sup>2</sup>, 山田正仁<sup>2</sup>

1) 国立病院機構医王病院 神経内科

2) 金沢大学大学院 脳老化・神経病態学 (神経内科)

30. ステロイド治療に反応する多発性の大脳, 脳幹および髄膜病変を認めた1生検例

○中野博人 (ナカノ ヒロト)<sup>1</sup>, 尾崎太郎<sup>1</sup>, 池田芳久<sup>1,2</sup>, 島 啓介<sup>1</sup>, 野崎一朗<sup>1</sup>,  
坂井健二<sup>1</sup>, 浜口 毅<sup>1</sup>, 小野賢二郎<sup>1</sup>, 中田光俊<sup>3</sup>, 岩佐和夫<sup>1</sup>, 山田正仁<sup>1</sup>

1) 金沢大学大学院 脳老化・神経病態学 (神経内科)

2) 国立病院機構 医王病院 3) 金沢大学附属病院 脳神経外科

15:10～15:15 閉会の辞

和歌山県立医科大学 神経内科学講座 伊東秀文

\*第10回日本神経病理学会近畿地方会の演題を兼ねる。